

1 農業における労働災害発生状況

北海道は労働災害多発地域

農業における労働災害は都道府県別では北海道で最も多く発生しています。

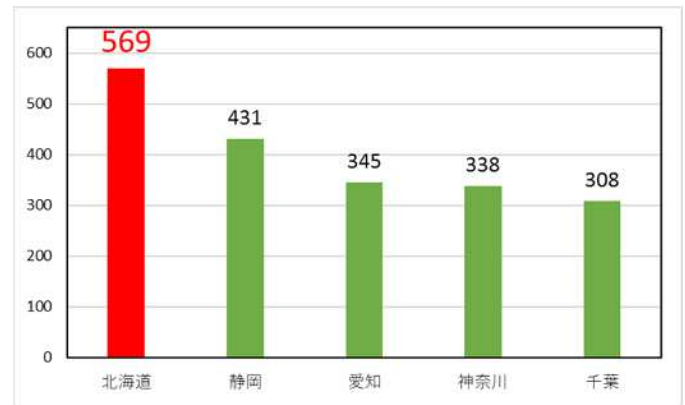
厚生労働省では第14次労働災害防止計画を策定し、労働災害防止に取り組んでいます。

けがの程度が重い

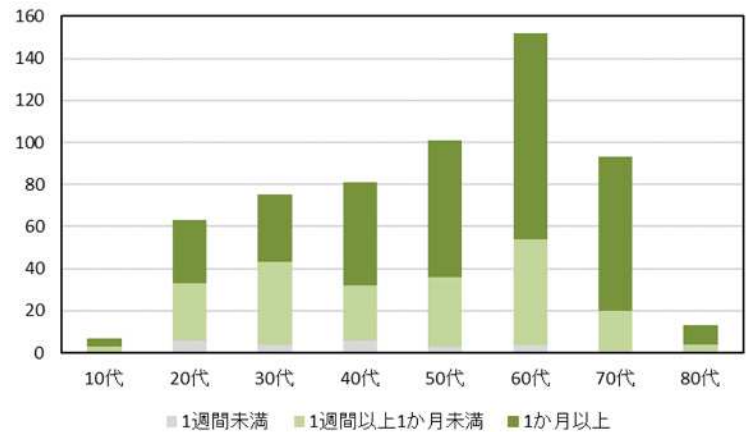
北海道における労働災害を見ていきましょう。直近5年（令和元年～令和5年）の農業における労働災害を分析しています。

けがの程度ですが、年代別では、ほとんどの年代で休業見込み日数が1か月以上のけがをしている割合が**50%以上**を占めています。高齢化とともに、休業1か月以上の割合は高くなっていますが、年代に関係なく、重症化しやすいことがわかります。

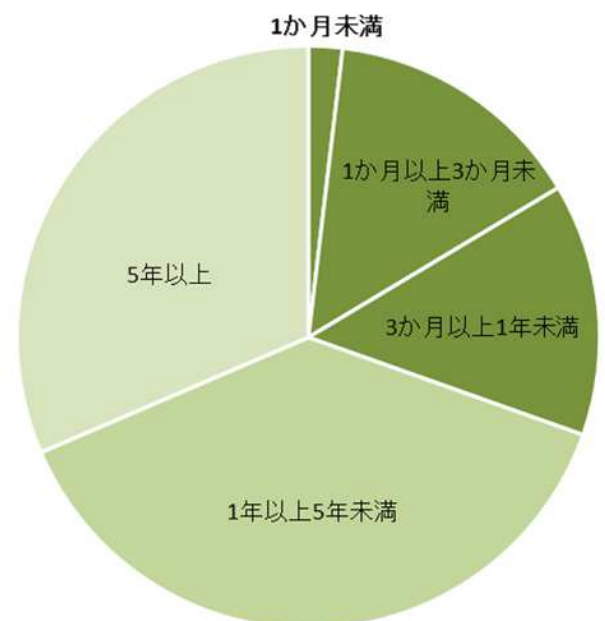
農業における都道府県別被災者数（R1～R5）



北海道における農業の年代別・休業期間別・被災者数（R1～R5）



経験期間別割合（R1～R5）



経験期間関係なく被災する

被災されている方の経験期間は

- 1年未満（未熟練）
- 1年以上5年未満（慣れてきた頃）
- 5年以上（熟練）

と分類するとほぼ同じ割合であり、農業については、経験期間に関係なく、被災していることがわかります。

1 農業における労働災害発生状況

ポイント 1 機械に注意

起因物別では、機械を起因物とする労働災害は、全体の約6割を占めています。

また、

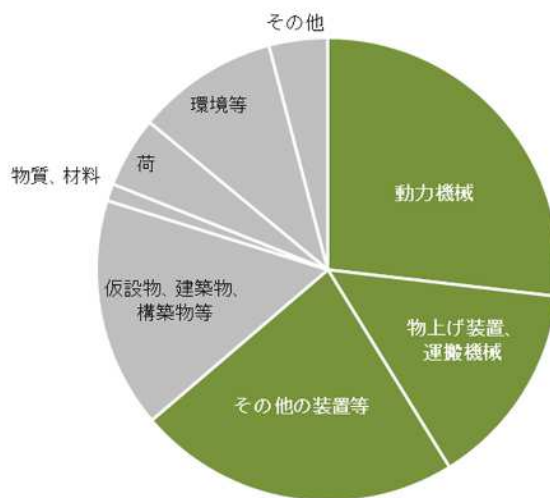
機械へのはさまれ、巻き込まれ
機械、脚立などからの墜落、転落
通路などでの転倒

といった災害が多数発生しています。

動いている**機械**に近づかない、手を入れないことが重要です。

機械は**人の力では止まらない**ことを理解しましょう。

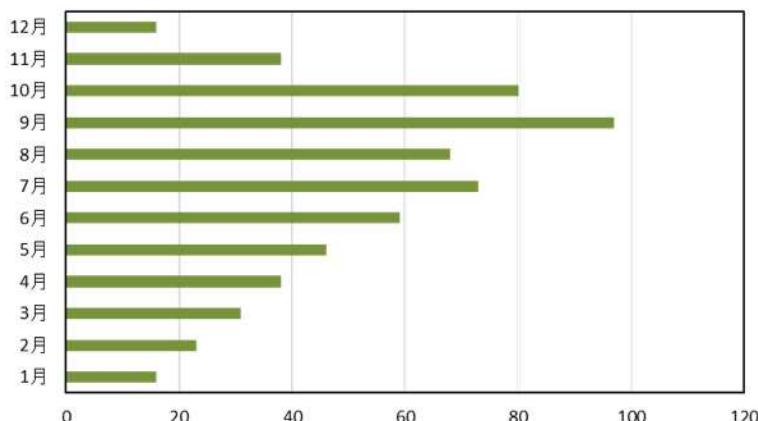
起因物別割合 (R1 ~ R5)



事故の型別割合 (R1 ~ R5)



月別被災者数 (R1 ~ R5)



ポイント 2 早めの教育と余裕ある作業

災害は1年を通して発生していますが、特に

収穫時期である7月から10月まで

植え付け期である4月から6月まで

の期間に災害が多発しています。

これらの時期は**繁忙期**で、十分な安全教育をしている**時間はありません**。

農家は余裕をもった作業、安全教育を

労働者は危険について予測を

することがけがの防止につながります。

上記を踏まえた労働災害防止対策のポイント

機械災害に特に注意

災害事例を参考に対策を検討 (P4 ~ P10)

写真を見て危険を予測 (P11 ~ P14)

法令についての理解が重要

関係法令のポイントを理解 (P19 ~ P24)

特に雇入れ時等の教育徹底 (P22)